

学力調査結果 【3年生】

(1)全体を通して

今年度は、国語と数学については「全国学力学習状況調査(文部科学省)」のA問題(一部B問題)、その他の教科については「練馬区立学校学力調査」の結果(平成26年4月実施)を掲載しています。

5教科すべてにおいて、全国および都の平均正答率とほぼ同じ結果でした。内容的に見ると、各教科の特性はあるものの、全体的に自分の考えをまとめて、または既習事項を活用して「書く・表現する」という分野において、正答率が低いという結果が出ています。その原因として、日常の学習活動の中で、自分の考えを述べたり表現したりする場面が少ないということが考えられます。

この結果から、様々な学校生活の場で生徒に表現の機会を与えることが必要となりますが、実際の日常生活の中で、既に生徒はいろいろな場面で自分の考えを表現しています。しかし、注意しなければならないのは、生徒が表現する際、大切な部分や根拠、理由を省略したり、「あれ」や「これ」といった表現を使ったりして、物事を表現しているという点です。また、聞き手もその表現に対し、何となく理解して済ませていることが多いと思われる。この点を踏まえ、自分の考えを表現する・説明することを指導する際は、根拠のある内容かどうか確認する場を作ることが大切だと考えます。そして、こうした活動を繰り返すことで自分の考えを相手にうまく伝える、表現することができるようになると考えます。また、思考する中で物事を表現することによって、理解力も高まり、学力の向上が期待できると考えます。

(2)教科別結果

3年		平均正答率			備考	分析
		本校	都	全国		
国語		80.8	80.7	79.4		B問題 「書く能力」および「言語の知識・理解・技能」が平均を下回った。「書く能力」については、出題方法により、正答率に差があり、登場人物の「気持ちを想像して書く」は正答率が高く、「叙述に合わせて書き換える」は低い。様々な条件に対応して適切に書く力を指導する必要がある。「言語の知識…」については、語彙力に個人差が見られ、漢字小テスト等の積み重ねを大切にしよう指導する。
観点別 正答率	国語への関心・意欲・態度	42.9	43.3	41.0		
	話す・聞く能力	76.5	73.5	72.3		
	書く能力	84.7	84.8	83.4		
	読む能力	87.7	85.4	82.9		
言語についての知識・理解・技能		78.3	79.6	78.7		

3年		平均正答率			備考	分析
		本校	区	全国		
社会		45.5	49.4	51.3		「資料活用能力」は平均をやや下回ったが、4観点の中では比較的高い。「関心・意欲・態度」は平均を下回ったが、疑問を積極的に発言するなど意欲的な生徒は多い。「社会的事象の知識…」については、授業で身近な話題や時事問題を紹介し学習意欲をさらに高め、知識・理解の能力を伸長させるとともに、知識の定着に向けて授業の最初に前時の復習を行う。
観点別 正答率	社会的事象への関心・意欲・態度	40.3	43.7	42.8		
	社会的な思考・判断・表現	44.6	47.4	46.6		
	資料活用能力	45.0	46.5	47.6		
	社会的事象についての知識・理解	45.8	50.2	52.7		

3年		平均正答率			備考	分析
		本校	都	全国		
数学		69.5	68.8	67.4		B問題 「技能」を習得している途中段階だが、解法の手段ばかりで、「数量や図形における知識」を活用しての「技能」はまだ習得できていない。「知識」が不十分なため、じっくり考えることができず「数学的な見方・考え方」の正答率にも影響していると考えられる。少人数指導を生かし、課題解決の際、その根拠を考えさせるような発問の工夫や理解定着の板書の工夫をしていく。
観点別 正答率	数学への関心・意欲・態度					
	数学的な見方や考え方	59.4	59.9	57.9		
	数学的な技能	69.5	69.9	68.2		
	数量や図形などについての知識・理	69.5	68.0	66.8		

3年		平均正答率			備考	分析
		本校	区	全国		
理科		47.9	47.8	51.8		「自然事象…知識・理解」以外は全観点で、区平均を上回ったが、全国平均には届いていない。中でも、「思考・表現」の能力は不十分だと考えられるので、実験、観察のねらいを明確にして、生徒が考察しやすい工夫をして、「思考・表現」の力を高めていく。また、「知識・理解」については、小テストの繰り返しによりその定着を図っていく。TTによる指導の充実により個人差をなくしていく。
観点別 正答率	自然事象への関心・意欲・態度	49.6	48.0	52.0		
	科学的な思考・表現	46.9	46.6	49.9		
	観察・実験の技能	63.0	61.4	68.6		
	自然事象についての知識・理解	48.4	49.3	53.5		

3年		平均正答率			備考	分析
		本校	区	全国		
英語		68.6	69.4	58.1		全観点で全国平均を上回る結果だった。「関心・意欲」はあり、基本的な文法事項や語彙は定着している。「表現能力」では、希望をたずねたり、依頼したりする表現に課題がある。基本的な文法事項の定着を図り、それらを活用して表現に活用できるように、日常的に練習させる。また、まとまった英文を書く力が課題であるので、語彙や文法事項の確認をしたうえで、テーマ別に英文を書く時間を設定する。
観点別 正答率	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	62.0	63.4	51.5		
	外国語表現の能力	51.6	53.7	38.8		
	外国語理解の能力	71.0	71.7	61.5		
	言語や文化についての知識・理解	73.8	74.9	63.4		

◆国語・数学は文部科学省「全国学力・学習状況調査結果」に基づく分析。

◆社会・理科・英語は「練馬区立中学校学力調査結果」に基づく分析。